

区分・種別	名勝		
名 称	ふるいわや 古岩屋		
所 在 地	上浮穴郡久万高原町直瀬		
所 有 者	久万町高原町ほか	管 理 団 体	久万高原町
指定年月日	昭和19年11月7日		
解 説	四季折々すばらしい景観を見せる古岩屋は、結晶片岩^{けっしょうへんがん}を基盤とする第三紀礫岩層^{れきがん}が発達し、円錐状の礫岩峰が所々にそびえ立っている。その高さはいずれも30～40mあり、岩腹には浸食により無数の穴が刻まれている。 イワヒバ、セキコク、ツガが岩壁を縫うように取り巻き、特異な景観を誇っている。また、溪谷にはイワヤシダ、イヨクジャクなどのシダ類も見られ、地質学・植物学上、貴重な資料を提供している。 岩峰の一つ、不動岳中腹の横穴には不動明王がまつられるなど、聖地として崇敬を受け、人の絶えることがなかった。 国民宿舎「古岩屋荘」、自然歩道「四国のみち」の完成により、親しみを増してきている。		

